

フィリップス・ジャパン

<https://www.philips.co.jp/healthcare>

BOOTH

No.

D1-11
 theme... **Together, we make life better.**

主な展示製品

- MR 装置
「Ingenia Ambition 1.5T」
- CT 診断装置
「IQon Spectral CT」
- 血管造影 X 線診断装置
「Azurion R2.1」
- 超音波診断装置
「EPIQ」 「Lumify」
- ヘルスケア IT
「Vue PACS Client」 「IntelliSpace Portal」



IQon Spectral CT

フィリップスは、「Together, we make life better.」をメッセージに掲げ、患者を中心とした正確な診断、治療を目指すための最適なワークフローを示す。

フィリップスが目指す 4 つの課題として「患者のより良い健康の実現」、「患者・家族の満足度向上」、「医療従事者の環境の改善」、「不要な医療コストの削減と収益改善」がある。それをベースとしたソリューションの紹介を行う。

AI や ICT を応用したアプリケーションや臨床画像などモニターでの各種製品プレゼンテーションを併用し、デジタルトランスフォーメーションが進んだフィリップスの医療ソリューションを体感いただける。

● MRI、CT 先進のテクノロジーで高まる有用性

ヘリウムに依存しない BlueSeal マグネットを搭載する MRI 「Ingenia Ambition 1.5T」は、オペレータが磁場を落とし再度磁場を立ち上げる機能である「EasySwitch」を搭載し、



Ingenia Ambition 1.5T



Azurion R2.1

経済性と安全性を高める。

「IQon Spectral CT」の最新活用症例として Electron Density (電子密度) 画像を用いて単純 CT 画像にもたらす新たなコントラスト画像として、COVID-19 による肺炎の早期指摘を示唆する症例や単純画像での血栓の指摘を実現する画像などを紹介する。

● 携帯型超音波診断装置「Lumify」 あらゆる場所での検査を可能に

携帯型超音波診断装置「Lumify」の実機を展示する。「Lumify」はあらゆる場所での超音波検査を可能とし、遠隔コミュニケーションツール「Reacts」の搭載によるリアルタイムでスキャン断面やビデオ画像を共有することで、迅速で的確な医療の提供や教育的ツールとしての活躍が期待されている。

● 読影ビューア「Vue PACS Client」 遠隔でも院内同様の読影環境を

また、読影ビューア「Vue PACS Client」は遠隔画像診断に対応。ビューア操作に連動し、必要な画像を通信速度に応じた圧縮率で送信して、院内同等の操作性を実現する。

● 次世代プラットフォーム 「Azurion R2.1」シミュレーター初展示

すでに国内 200 台以上の稼働実績がある血管撮影装置「Azurion シリーズ」に対応した次世代モデルのプラットフォーム「Azurion R2.1」のシミュレーターを国内で初出展する。当展示では新生「Azurion R2.1」と新アプリケーション「SmartCT」をシミュレーターで体感いただくことで、実臨床での操作感のイメージが可能となる。